

# メディア映像 専攻

設置クラス	メディア映像本科 高卒生	月曜～水曜 9:30～16:30	日曜 9:30～18:00
	メディア映像専科 高3生・高卒生	月曜～水曜 17:30～20:30	日曜 9:30～18:00
	メディア映像高2専科 高2生	月曜～水曜 17:30～20:30	日曜 9:30～18:00
	メディア映像日曜専科 高3生・高卒生	日曜 9:30～18:00	
	映像土曜専科 高3生・高卒生	土曜 13:30～19:30	
	映像高2土曜専科 高2生	土曜 13:30～19:30	

## メディアを企む。

AIや映像技術の発達に伴い、デジタルメディアを用いた躍進的な表現が次々に生まれています。旧来の写真、アニメーション、映画といったジャンルが培ってきた表現を受け止め、それらを新しい技術とともに展開する力が求められています。メディアやデバイスの特性を探り、今のようなイメージを受け手へと届けるのか。それぞれの志望領域をもとに、入試に挑む発想力と伝える力を鍛えます。



## 指導スタッフ

基礎的な映像の見方から、実制作における専門技術の指導まで。TVCMやMVなども手がける映像作家が来塾し、合格までサポートします。

- レギュラー講師
  - 足立 涼 愛知芸大大学院日本画修
  - 河合 歩美 愛知芸大デザイン卒
  - 小山 隼人 東京藝大大学院アニメーション修
  - 志賀 佳奈子 愛知芸大デザイン在籍
  - 竹森 千晴 愛知芸大大学院彫刻修
  - 前川 宗睦 名古屋芸大大学院洋画修
  - 松尾 奈帆子 武蔵野美大映像卒
- チューター
  - 阿部 竜也 愛知芸大彫刻在籍
  - 磯村 嶺太 愛知芸大日本画在籍
  - 梶田 純矢 名古屋造形大映像文学在籍
  - 中根 光駿 愛知芸大油画在籍



(2024年12月現在・50音順)

年間カリキュラム	メディア映像			映像
	本科	専科・高2専科	日曜専科	土曜専科・高2土曜専科
<b>春期講習</b>				
<b>1学期</b>	[基礎表現と体験学習]			[基礎表現]
<ul style="list-style-type: none"> <li>入塾ガイダンス</li> <li>第1回全統共通テスト模試</li> <li>全体保護者会(動画配信)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドローイング</li> <li>クロッキー</li> <li>レイアウト</li> <li>企画構想</li> <li>物語制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写生(植物・動物・風景)</li> <li>デッサン基礎</li> <li>図学・色彩学</li> <li>色彩構成基礎</li> <li>立体造形基礎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドローイング</li> <li>イメージボード</li> <li>発想構成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドローイング</li> <li>クロッキー</li> <li>レイアウト</li> <li>企画構想</li> <li>物語制作</li> </ul>
●第2回全統共通テスト模試				*総合型選抜対策(土曜ゼミ) *志望コース別課題 応相談
<b>夏期講習</b>				
<b>2学期</b>	[表現研究と入試対応]			[応用表現]
<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会(三者面談)</li> <li>大学入学共通テスト出願</li> <li>第3回全統共通テスト模試</li> <li>全統プレ共通テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>描写(デッサン)</li> <li>構想表現</li> <li>プレゼンテーション</li> <li>ディスカッション</li> <li>構成研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>造形・表現研究</li> <li>人体クロッキー・フォルム研究</li> <li>対応力強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドローイング</li> <li>イメージボード</li> <li>発想構成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構想表現</li> <li>小論文</li> <li>プレゼンテーション</li> <li>ディスカッション</li> </ul>
				*総合型選抜対策(土曜ゼミ) *志望コース別課題 応相談
<b>冬期講習</b>				
<b>3学期</b>	[志望校別対策]			[志望校別対策]
<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入学共通テスト</li> <li>修了会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>描写(デッサン)</li> <li>実践力・対応力強化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>発想構成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>志望コース別課題</li> </ul>
<b>直前講習</b>				



### [愛知県立芸術大学] 描写(デッサン)

鉛筆の使い方や、基礎的な描画技術から発展的な表現まで、鉛筆による総合的な実技力を養います。



### [愛知県立芸術大学] 発想構成

さまざまな描画材を扱いながら、自身のイメージを形にし、人に伝える表現力と技術を養います。



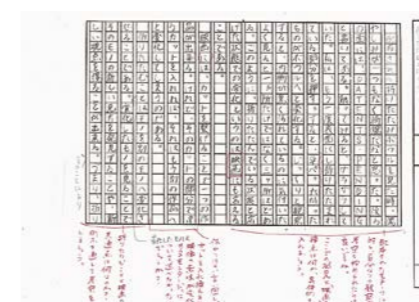
### イメージボード

撮りたい映像のアイデアをスケッチボードと設定表を用いて表現します。



### [武蔵野美術大学] 感覚テスト

武蔵野美大の課題です。撮りたい映像のイメージを絵と文章で表現します。



### [武蔵野美術大学] 小論文

武蔵野美大、日芸(映画)などの課題です。発想力、論理的な記述力が求められます。



### [武蔵野美術大学] 総合型選抜

総合型選抜に向けて、ポートフォリオやプレゼンテーションの対策を行います。

愛知県立芸術大学メディア映像専攻の対策コースです。一般選抜における「描写（デッサン）」を平日授業、「発想構成」を日曜授業で対策します。総合型選抜の対策は土曜ゼミで行います。（土曜ゼミは別途、申込および受講料が必要です）

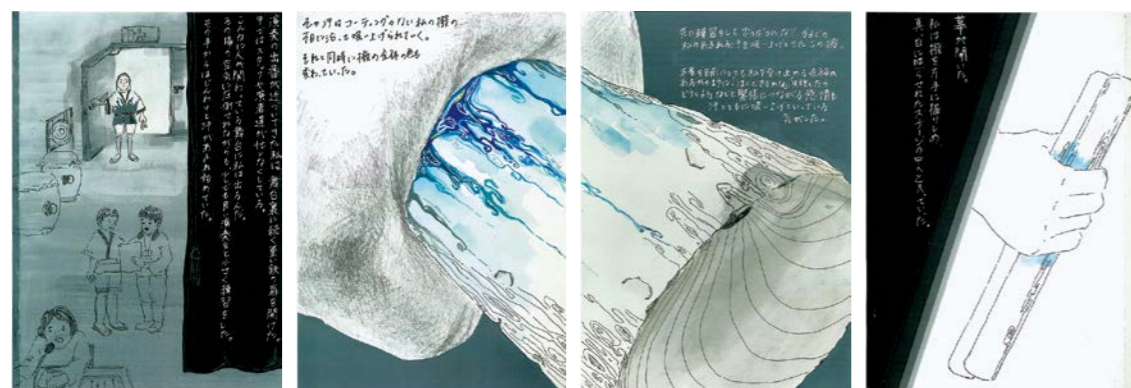


1. 鏡を持つ手、その鏡に映る像、さらに奥の鏡に映る像と、3つの空間と距離を用いて「私」の存在感を表現しています。手前から奥へと描写の密度を弱めることで、視線のリズムを構成しています。[B3・描写・専科生]

武蔵野美術大学映像学科の対策コースです。一般選抜で課される感覚テスト、小論文を合格レベルに引き上げるための課題に取り組みます。総合型選抜の対策を希望する場合は、プレゼンテーション、ディスカッション、ポートフォリオの指導を行います。併願先として、他大学の映像・映画学科の対策も実施しています。（東京造形大学、日大芸術学部、立命館大学、大阪芸術大学、名古屋学芸大学など）



2. 「水」をテーマとする課題です。水路のトンネルの壁に反射した水面のゆらぎに囲まれながら、自らの肌にも映り込んだ水の様子を見つめ、体の内外に存在する水の印象を表現しています。[B3・感覚テスト・専科生]



3. 演奏を控える緊張から生じた汗が、太鼓の撥のすき間を沿い、流れ、揮発していく印象を視覚的に表現しています。主人公が練習に注いだ時間の反映である凸凹した撥の形態を利用し、舞台上立つ直前の主人公の心理状況を描いています。[B4（4枚）・発想構成・専科生]

合格者からのメッセージ

**佐々木 百音さん**  
メディア映像日曜専科  
旭丘高校出身

**現役合格** 愛知県立芸術大学 メディア映像専攻

好きなものについて、今まで何となく好きだと感じていましたが、メディア映像をめざすようになってからは、何が好きなのか深く考え、言語化することを心がけました。もともと油画を描いていたので、描く対象物はもちろん、描いているときの感覚まで意識を向けてみました。皆さんの好きなことを徹底的に突き詰めてみてほしいです。頑張ってください！

**花田 和人さん**  
映像土曜専科  
名古屋西高校出身

**現役合格** 武蔵野美術大学 映像学科  
東京造形大学 映画・映像専攻領域

美大の特性上、必勝法はないです。学習塾はダンベルを渡されて、重りを増やし、マッチョになるものですが、美術研究所はどういう運動をするかは自分で模索するイメージです。マッチョになるのか、持久力を高めるのか、運動能力を高めるのか。美術研究所では自分で必要なことを考え、アドバイスというプロテインを飲んで、血肉をつくっていくことです。

大学生生活紹介

自分の好きを信じて、大切にしてみてください。

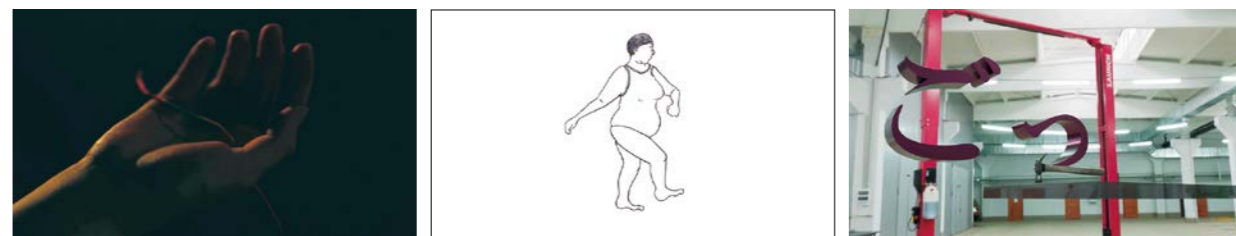


池田 美乃吏さん

愛知県立芸術大学 メディア映像専攻1年  
2022年度 基礎高1・2年専科、デザイン・工芸基礎高2日曜専科/  
2023年度 メディア映像専科  
ルネサンス豊田高校出身

大学に入学してまだ半年程しか経っていませんが、すでにさまざまな媒体を通じて自分の考えを表現する機会を多く体験しました。その体験を通して自分のやりたいことを少しずつ知っていき、協力の大切さ、計画の重要性などさまざまな面で多くのことを学びました。そしてこの体験の中で受験生時代に培ったものを使う機会は多いです。たとえば、講評で先生からの客観的意見を取り入れる姿勢は培ったものの一つだと思います。一つひとつの課題や講評に一喜一憂しすぎずに、見直すべき点はどこかを冷静に観察するのが重要なのだと思っています。

私自身もまだまだ模索の日々で、不安になることも多くありますが、必ず自身の模索の成果が現れることを信じているので、そんな日々を大切にしています。どうしようもなく辛くて逃げたくなるときもあるかと思いますが、そんなときは自分の好きを信じて、大切にしてみてください。応援しています。



1. 実写課題 2. アニメーション課題 3. 3DCG課題

表現の手段にあふれているのが映像の魅力



星野 陽平さん

武蔵野美術大学 映像学科1年  
2019年度 基礎高1・2年専科/2021年度 デザイン・工芸日曜専科/  
2022年度 デザイン・工芸本科/2023年度 メディア映像本科  
一宮起工科高校出身

一年次に映像の基礎の講義を一通り受けて、映像だけでなく関連するメディアについても学んでいきます。講義自体が横で重なっているわけではないですが、身につけたことが他の講義でもつながってくる部分は多いです。なので映像というものを横断的に理解していくことができると思います。やりたいことが決まっている人はもちろん、まだ決まりきっていない人でも何がやりたいのかを見つけることができると思います。やりたいことを掘り下げてフォーカスを合わせていくような講義もあります。



1 2

私自身何か強い目的があったわけではなく、映像の中に感じる動きや空間というものに興味をもったのでめざすことにしました。ちょっとした動機に対してでも表現の手段にあふれているのが映像の魅力でもおもしろいところだと思います。映像の性質的にさまざまな側面を持っていて、それを組み合わせることもできます。受験対策の中では辛いときもあると思います。そういうときははいなしてみたり、軽く流してみたりして、とにかく楽しんで制作してみてください。応援しています。



3 4

1.2. 自主制作中のアニメーション作品  
3.4. 課題として制作した火花がテーマのアニメーション